

令和元年房総半島台風等

マンション停電災害状況調査報告書

一般社団法人千葉県マンション管理士会

目 次

目次・挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁
第一部 マンション停電災害調査結果・・・・・・・・	3 頁
1 台風とマンション停電災害アンケート調査	
2 訪問調査	
3 令和元年房総半島台風における東京電力対応の推移	
<参考資料> 復旧作業に取り組む姿	
第二部 房総半島の気象状況・・・・・・・・	14 頁
1 台風第15号(令和元年房総半島台風)	
2 台風第19号(令和元年東日本台風)	
3 10月25日豪雨をもたらした低気圧	
第三部 房総半島台風等の被害状況・・・・・・・・	20 頁
1 台風第15号による主な被害の状況	
2 台風第19号による主な被害状況	
3 豪雨をもたらした低気圧による主な被害状況	
あとながき・・・・・・・・	26 頁

* ご挨拶 *

一般社団法人千葉県マンション管理士会

会 長 森 健 一

令和元年秋の台風第 15 号、第 19 号、それに続く豪雨による被害に遭われた方々の支援について、地元・千葉県マンション管理士会として何か出来ることはないかと、ずっと考えていました。ちょうど千葉県に災害対策の士業連絡会が発足した直後で、いくつかの士業会が支援活動を開始していましたが、マンションの建物・設備の被害は戸建てに比べて小さかったほか、マンション管理士の業務の性格上、被害後の支援よりも今後への備え、対策についてマンション管理組合に助言、支援していくことが最も大切な役割だと考え、停電災害の実態を調査し、今後への教訓としてまとめることにしました。

地球温暖化によって、今後も同規模、あるいはそれ以上に強い台風が襲ってくる可能性があります。マンションにおいて、今回の台風による被害の中心は、停電による日常生活の破壊でした。停電によって水が使えず、トイレや風呂が使用できなくなりました。一般社団法人千葉県マンション管理士会では、マンション防災研究会を中心にアンケート調査や訪問調査を実施し、報告書としてまとめました。調査にご協力いただいたマンション管理組合や管理会社の皆さまには心より感謝申し上げます。この調査報告書が、今後の災害対策、とりわけ停電対策に少しでもお役に立てば幸甚です。

第一部 マンション停電災害調査結果

1. 台風とマンション停電災害アンケート調査

これまで、大災害と言えば阪神・淡路大震災・東日本大震災・熊本地震等々と、地震災害の代名詞とされてきました。熊本地震から4年が経ちますが、この間、西日本豪雨災害を始めとして風水害が目立っています。マンションの災害には建物の倒壊や破壊がつきものでしたが、風水害による災害は、建物より日常生活の破壊が中心となりました。

2019年、房総半島を台風第15号・第19号・豪雨が立て続けに襲い、大きな被害をもたらしました。私ども千葉県マンション管理士会では、今後の教訓を求めてマンション台風被害の実態調査を行うことと致しました。

■調査票発送・回収状況

(調査票は第一部の最後に添付)

1. 調査実施期間

・期間 2019年11月～2020年1月

2. 郵送による調査

ア. 調査票発送数 248件

発送は千葉県マンション管理士会3支部並びに全会員に依頼して郵送・交付。

・内訳：千葉市緑区34件、千葉市（除く緑区）50件、市原市20件、佐倉市68件、成田市45件、南房総市5件、館山市1件、鴨川市11件、勝浦市7件、御宿町7件

イ. 調査票回答数 33件（回収率 13.3%）

・内訳：千葉市花見川区1件、中央区1件、美浜区6件、稲毛区3件、緑区1件、袖ヶ浦市1件、市原市2件、富里市1件、佐倉市3件、横芝市1件、鴨川市2件、成田市1件、八千代市1件、勝浦市4件、富津市1件、野田市2件、市川市2件

3. 回答記入者：（回答先全33件について）

理事長19件、役員5件、組合員1件、管理会社8件

4. マンションの停電時間（回答先全33件について）

(1) 台風第15号

ア 停電の有無

停電あり・・・12件 停電なし・・・19件 不明・・・2件

イ 停電時間の内訳

1時間未満：2件、 3時間未満：2件、 12時間未満：1件

24時間未満：1件、 1日以上：6件（最長9月9日～21日まで13日間）

(2) 台風第19号

ア 停電の有無

停電あり・・・9件 停電なし・・・22件 不明・・・2件

イ 停電時間の内訳

1時間未満：5件、 3時間未満：3件、 12時間未満：1件

24時間未満：0件、 1日以上：0件

5. 停電で困った事項（回答先全33件について）

(1) 専有部分

調理： 6件 水： 11件 風呂： 6件 洗濯： 6件

トイレ： 11件 電話： 7件 テレビ： 9件 パソコン： 5件
電 灯： 5件 空 調： 1件

(2) 共用部分

エレベーター： 6件 自動ドア： 1件 排 水： 1件
給 水： 10件 屋内灯： 4件

6. 停電後ブレーカーを切った（回答先全 33 件について）

Y E S 4件 (12%) N O/未回答 29件(88%)

7. 防災訓練を実施している（回答先全 33 件について）

Y E S 18件 (55%) N O/未回答 15件(45%)

■調査結果概要

今般の被害は、マンション災害の中でも地震被害のような建物損壊は少なく、生活破壊が主体の災害であり、回答からもこうした例が多く窺えました。

1. 水道対策

停電すると、すぐ揚水モーターが停止し、水道が使えなくなります。組合では、まずその対策に動きました。

水が使えた下層階からホースで上階に水を汲み上げた例。自衛隊・行政のタンク車を利用した例。管理会社が近隣に水を購入に行った例がありました。給水車を利用するためには、水運び用のポリタンク、バケツ等の容器の準備が必要です。

また、地上にある給水タンクに直接蛇口を付けることで、緊急時に水が使えるようになりますので、対応しておくのも良いと思います。

2. トイレ対策

マンションでは地震災害による下水管損傷を想定し、トイレが使用できなくなった時の準備に、市販の簡易トイレセット等の準備をされているところも多いと思います。

どんな災害でも、各組合員個々での簡易トイレセットの保管は必要です。

3. 風呂対策

今回の災害は房総半島が中心でしたので、周辺にリゾート用の宿泊設備があり地元ホテルによる被災者に向けた無料風呂の提供がありました。提供者に感謝申し上げます。

4. 食べ物対策

今回の第15号台風による災害では、戸建ての屋根被害はありましたが、商店の多くは開いていました。自家用車があれば、食べ物・飲料水等の購入には、こうした店を利用でき、大きな問題にはならない例が多く見られました。

5. 自家発電機の準備

多くの組合が、自家発電機を購入しておくべきだったと反省しています。組合に1機でも良いので、ぜひ自家発電機を備えたい。ただ、燃料のガソリンには使用期限があり、いつまで停電が続くかも分からないので使用を控えた組合がありました。天候にもよりますが、ソーラー発電機がより良いようです。夜の作業や、携帯電話・パソコンの充電に自家発電機は欠かせません。テレビが1台でも見られれば、大きな情報源になります。

6. 建物関係

今回は大きな建物被害はないものの、エレベーター本体に水が入った例や、1階に水が入った例がありました。マンションでも1階の防水対策は必要です。

そして何より、台風第15号では、多くのマンションからベランダの隔壁損壊が報告されています。隔壁は、これを壊して避難路にするため、余り強固にするわけにもいかず、管理に工夫が必要です。これには保険加入が最大の対策と言えます。

■調査票回答内容の抜粋・・・停電で困ったこと

1. 断水

- a. 下の階層から、ホースで水を上にあげた。
- g. 管理会社に近隣で水の購入を依頼した。
- b. 自衛隊の給水車がマンション敷地に来た。
- h. 近隣に市からの給水車が来た。
- c. 風呂は近隣のホテルが支援。
- i. 給水後も濁った水が流された。
- d. 水の濁りをその日のうちに清掃。
- j. 組合員が手動で起動復旧させた。
- e. ポンプのメーカーや警備会社とは連絡が取れず、復旧が遅れた。
- f. 通電後すぐ水が出ず、知人の技師から復旧方法を聞いて対応した。

2. トイレ対策

- a. トイレに風呂水を使用。
- b. 使用には便器に大きな袋をかぶせ、ビニール袋をゴミ箱に。

3. 食べ物対策

- a. 管理会社に買いに行って貰った。

4. エレベーター停止

- a. 業者はなかなか来なかった。

5. 固定電話

- a. 停電で固定電話まで不通になるとは思わなかった。
- b. 停電で固定電話が使えず、仕事に差し支えた。

6. 洗面对策

- a. 洗面には風呂水を、歯磨きは台所の鍋に貯めた水を使用。

7. その他全般

- a. 3日目に自家発電機を調達して、スマホに充電。
- b. テレビは使えず情報なし、予備バッテリーはいつまでに回復するか不明で、使えず我慢していた。エアコン不可、窓開け不可、暑かった。
- c. エレベーター停止・水なしに対して、管理会社が水・パン等を購入し、ランタンを借りてきた。断水に対しては、水の出る低層階から高層階にホースで水を給水した。
- d. 管理室の電話が、停電・断水・復旧見通しの問合せ等々で鳴りっぱなしだった。
- e. 避難所に行った。
- j. ろうそくを使用。
- f. 大浴場のボイラーが停止。
- k. 車中泊をした。
- g. 停電・猛暑で車中泊したが、ガソリン残量が不安になった。
- h. 電力が復旧しても給水ポンプはすぐには動かなかった。
- i. 電気がなく、暑さ対策に困った。

■停電対策として事前準備したこと

- ア. モバイルバッテリーを設置。
- イ. 水の買い置き・汲み置き・食べ物の買い置き。
- キ. 団地の樹木管理。
- ウ. 駐輪場の屋根対策。
- ク. 防災ラジオの充電。
- エ. ソーラー電気、充電式バッテリー。
- ケ. 貯水槽からの取水。
- オ. 懐中電灯、風呂への水張り、蓄電池充電、自動点灯。トイレは下階ほど水流が弱い。
- カ. 自家発電機の設置と定期的点検、懐中電灯ほか

■停電対策として有効な施策

- ア. 地震対応ブレーカー遮断機の設置（予定）。

- イ. 自家発電機。ただし、燃料が 30 分でなくなった。
 ウ. 井戸水の利用。 エ. 年 1 回の防災訓練。 オ. 発電機の燃料準備。

■ 組合の対応

- ア. 台風第 15 号では何もせずに反省、19 号では掲示板に注意喚起。暑さ対策なし。
 イ. 被害調査に行った役員が専有部分入室を断られた。
 ウ. 今後、自家発電機を準備予定。 エ. 防災マニュアル作成を検討。

■ 停電災害以外の台風被害

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ア. 住戸への浸水 | チ. 街灯の破損 |
| イ. 隔壁の損壊 | ツ. 倒木で自動車が破損 |
| ウ. 植栽被害 | テ. 屋根瓦の損壊 |
| エ. 水道水が濁った | ト. 庭木の倒木 |
| オ. 看板の倒壊 | ナ. ドレンのキャップ外れ |
| カ. 落雷で防犯カメラ・テレビ分配器破損 | ニ. 漏水について業者多忙で動かず。 |
| キ. 自転車置き場の屋根が破損 | ヌ. ベランダ浸水による床上浸水 7 戸 |
| ク. 窓ガラスにひび | ネ. 管理棟の屋根が飛ぶ。屋上ハッチが変形 |
| ケ. 管理棟漏水も業者が多忙で来ず | ノ. 集会室のエアコンが破損 |
| コ. 換気扇の破損 | ハ. 外フェンス傾倒、テレビアンテナの破損 |
| サ. 屋上受水槽が破壊、下階へ漏水 | ヒ. 入口のトタン・植木・隔壁が破損 |
| シ. 避難ハッチの破損 | フ. 車路・通路・天井・軒先の破損 |
| ス. フェンスの傾倒 | ヘ. 屋上防水の剥離 |
| セ. ベランダ網戸が飛来 | ホ. 庭木の枝の破損 5 0 本 |
| ソ. JCOM がダウン、テレビ、インターネット、電話が不通で困った。 | |
| タ. 落雷により電気部品焼損（防犯カメラ、テレビ分配器など・・・） | |

■ 台風災害対策として行ったこと

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| ア. 台風 19 号に備え 15 号被害宅に土嚢を配布 | ク. 組合による水・食料の配布 |
| イ. 廊下・ベランダの私物整理 | ケ. ベランダ整理を広報で呼びかけ |
| ウ. 窓ガラスに養生テープ | コ. 植栽を室内に移動 |
| エ. エントランスの大ガラスを養生 | サ. 窓サッシのパテ埋め |
| オ. 自家発電機のレンタル | シ. エレベータースイッチの漏電防止養生 |
| カ. 物干し竿、プランターの整理 | セ. 理事長と管理人で朝まで警戒 |
| キ. エレベーターの雨水・停止対策を検討 | ソ. ラジオ、懐中電灯、冷蔵庫の整理 |

（１） 防災訓練

- ア. 安否確認・炊き出し・消防署との連携。
 イ. 非常食の試食会。専用の備蓄食料でなくても備えになることが分かった。
 ウ. 組合内に防災会を組織し、消防とも連携して毎年実施、好評を得ている。
 エ. 津波対策訓練を実施。
 オ. マンションが行政指定の避難指定場所とされており、住民への開放と避難所としての重要性を再確認。

- カ. 消火器、通報、館内非常通報、A E Dの訓練 キ. 訓練は形式的だった。
- (2) シェイクアウト訓練

防災訓練については、何らかの防災訓練を実施している組合は18件(55%)と半数を僅かに上回った程度でした。防災訓練は構えて行うものだけではありません。地震発災時の防御姿勢を取る1分間の防災訓練は、場所も、時間も、費用もかけずに数人、数百人から数十万人の人達と同時に参加できます。

この「シェイクアウト訓練」をこれからの防災訓練の一つとしてお勧めします。



マンションでは防災訓練開始の合図として、スピーカーでシェイクアウト訓練開始案内をします。

居住者は今いる場所・自宅内で自主的に地震発生時の防御姿勢である「テーブルに潜って、頭を手で守り、1分間程度じっとして」地震の揺れを過ごします。今でも多くの小学校で行っている、防災頭巾をかぶった防災訓練のようにです。これがシェイクアウト訓練ですが、目的を持って1分間、テーブルに潜ってじっとしている事で確実に防災意識を高められます。

詳しくは「日本シェイクアウト提唱会議」のホームページに記載がありますが、届出は不要です。全国で届出のあった参加者は2019年度 683万7千人です。

■行政・電力会社等への要望

- ア. 被害申請が分かりにくく申請期間が短い。
- イ. 停電影響は多大、最大限の対策すべし
- ウ. 避難所開設状況の説明なし
- エ. イザという時の電話・ネットの不通は課題
- オ. 前面の道路が狭く、増圧直結ができない
- カ. 東電は十分反省し、日常管理の強化を
- キ. 信号ストップで渋滞・危険。至急対策すべし
- ク. 復旧予定時間発表が違いすぎたため、家族が体調を崩した
- ケ. 電気の復旧まで3週間かかった。行政による発電機・水・食料の調達をすべき!
- コ. ライフラインである給水については、町全体で対応できるように計画すべし
- サ. 猛暑の季節の停電長期化に命の危険を感じた。台風など進路を予想できる災害時には電波障害や停電のための点検人員を増やし、24時間以内に復旧させて欲しい
- シ. 相互連絡方法の対策を
- ス. 復旧後に原因、対策の説明なし
- セ. 復旧見込みの正確な情報なし(多数)
- ソ. 電力供給状況の説明なし
- タ. 防災ラジオの内容が簡素すぎる

■結びに

ア. 日常生活を突然閉ざされることは、その大小を問わず、困惑します。自然災害であっても、管理責任者に向けて不満が集まります。

今回の停電では、倒木は自然災害ですが、9月9日停電後の復旧見通しを正しく伝えられたのは4日後の9月13日でした。多くのマンションで、この正しい情報を得られ

なかったところに不満が集まりました。電力会社に日常管理の徹底と、復旧後にも原因や対策の説明を求める声が上がりました。

イ. 地元行政に対しては、自家発電機、水、食料等の速やかな配給を求めました。

ウ. インターネットの時代に、固定電話もテレビも使えずに必要な情報が得られなかった事への不満が調査票の回答には述べられていました。水がない、食べ物がいない、トイレが使えないことはともかく、停電がいつまで続くのか、見通しが分からないことに不安が募っていました。

エ. 突然の停電で、何よりも不足したのは「情報」です。

今般 市原市の町内会でミニ新聞を発行して災害情報を細かく町内住人に伝えていた例をお聞きました。これはマンションでも有用です。全館スピーカーが使えなくとも、町内や近隣の被災状況、停電地域と終了の見通し、行政の災害対応状況、商店・病院・保育園・小中学校の運営状況、組合員の持寄り情報等々を役員の皆様で収集し掲載したミニ新聞を組合員に配ってはどうでしょうか？

休日であれば、食材を持ち寄ってのランチ会を呼び掛けるのも良いと思います。

何より、ミニ新聞を印刷するためにも自家発電機が必要で、事前の準備が必要です。

オ. 停電となれば、テレビや固定電話も使えなくなります。連絡には、日頃から組合員のメールアドレスを登録しておくことが有用と思います。登録にあたっては、個人情報の問題をクリアするため、本人同意を得て、全員でなくても70%~80%程度を目指してはいかがでしょうか。未登録の方には掲示版でお知らせすれば良いと思います。

カ. 多くの管理会社の災害対応は、日常対応とは異なります。今般、管理員室に問合せ電話が殺到し、被害対応が後回しになった例がありました。災害時の電話には組合役員が対応し、適切な情報提供を行う事も良いと思われます。

キ. マンションでは在宅避難が求められています。今回は避難所に行った例もありましたが、逆に今後は地域の住人がマンションへ流入することも考えられます。流入については、非常時でもあり前向きな対応をお願いしたいですが、その際には必ず避難者の住所・氏名・電話番号を聞いておくことを忘れないでください。受入れについては、事前に理事会で話合っておくことをお勧めします。

ク. ある県警の元本部長から、危機管理対策に最も重要な事は最初に最大危機を想定して対策すること、事態の流れに従って不要な対応を少しずつ解除していくのが良いとお聞きしました。これは減算方式と言えますが、空振りも対策の一環です。一方、事態の流れに従って目先・目先の対策を積み重ねていく行動。これは加算方式と言えますが、後手・後手の典型で間に合わず、被害の拡大に繋がりがねません。

ケ. 皆さんのマンションでは、これまで何度か台風に遭遇していると思います。その際の状況を思い起こし、他のマンションの例も参考にしながら、気が付いた「全ての事項」について最大の対策を施すことをお勧めします。是非、大きく実施して下さい。災害が来なくても無駄と言う事はありません。組合員の心に「安心」が蓄えられます。何もしない場合には「不安」が残ります。

➡ 災害対策とは、「不安」を取り除いて、「安心」を増やすことです。是非、今日から最大限の対策をとることをお勧めします。

(木村孝：マンション管理士、災害復興まちづくり支援機構会員)

*** マンション停電災害調査の教訓 ***

個 人：・食物 ・水 ・トイレ の確保

組 合：・自家発電機の設置、 ・対内／対外と情報網の構築
・防災訓練の実施（1分間でも良い）

＝千葉県マンション管理士会 防災研究会＝

**⇒ 結果これは、停電災害に限らず全てに通じる災害対応の基本事項です。
マンションに必要なことはコミュニケーション良化と言った抽象的な言葉で
済まずに、一歩踏み込んで「情報網の構築」を提唱するものです。**

2. 訪問調査

(1) 千葉市緑区方面

* A マンション

- ・ 遠くなくコンビニがあり売切れもあったが、日常生活にはあまり困らなかった。
- ・ 停電で携帯電話の充電には困った。自動車充電した人もいたようだ。
- ・ 停電でも水は使えたので、トイレには困らなかった。
- ・ 結局2泊3日の停電は、暑い時期だったので3日目は我慢の限界に近かった。
- ・ マンションに自家発電機はあったが、上手く使えなかった。今後の課題。

(2) 佐倉市方面

* B マンション：

- ・ 停電は一日半程度、停電でポンプ室からの水が止まり、水系統は全てダウン。
- ・ 道路の向こうに停電にならなかった地域があり、コンビニが開いていたので、実質的な被害とは言えない程度に終わった。

* C 総合不動産管理会社

- ・ ユーカリが丘地区のマンションを含む不動産を多数管理している。
- ・ 台風第15号ではタワーマンションを筆頭に隔壁の被害が多数発生した。共用廊下では廊下パネル（壁側のみならず、フェンス側も）の被害が特に4・5・6階に発生した。全般的に窓からの雨水吹き込みが見受けられた。被害の多くは保険で対応

(3) 成田市方面

* D マンション

- ・ 朝5時から20時ころまで停電。水がなく、トイレは風呂水を使用、朝突然消えて、夜突然点いた。日中だったので大きな被害ではなかった。

(4) 御宿町方面

* E マンション

- ・ ベランダ隔壁、窓ガラスの被害、キュービクル部屋扉の損壊、隣接地との境塀の破壊等があった。停電は昼に短時間あっただけで、大きな被害ではなかった。

* F マンション

- ・ 停電は昼に短時間あり、エレベーターが止まった。マンション入口付近の高いホールには水が入った。それ以外、大きな被害はなかった。
- ・ 御宿地区では全体的に停電時間が短く、停電による問題は特になかったようだ。

(5) 富津市方面

* Gマンション

- ・ リゾートマンションで、所有者本人の居宅は10%程度、多くは賃借人。所有者については、車で過ごした人、別宅に泊まりに行った人等、各自で工夫していた。
- ・ 築年は古いが防災マニュアルがなく、防災訓練をしていなかったのもので今後考えたい。停電13日は長く、行政や東電に言いたい事もあるがとにかく待つしかなかった。

3. 令和元年房総半島台風における東京電力対応の推移

(1) 停電状況と復旧見通し

台風第15号による停電災害は、当初の段階では関東地方の広範囲に及んでおり、千葉県においては、倒木による道路の寸断などで、被害の全容が見通せない状況でした。そのため、東京電力は、過去の台風被害による復旧時間を参考に見通しを作成したようです。しかしながら、現場の確認が進む中で、当初の予想以上に電線の切断箇所が多数あることが判明したため、停電復旧の見込みが数度訂正されました。

この結果、地域全体の復旧見通しの概要が公表されるまでに4日半を要したうえ、市区町村の地区ごとの復旧見通しの公表には更に時間を要しました。

(以下は台風第15号についての発表、東京電力プレスリリースから抜粋)

9月10日(火) 17:00=本日17時時点で約58万軒が停電しておりましたが、今夜中に約12万軒まで縮小する見込みとなりました。

9月11日(水) 8:00=千葉については、現時点で40万軒以上が停電している状況です。
現時点で本日中に全ての停電が解消する見通しは立っておりません。

9月12日(木) 18:30=本日8時時点で、約47万軒停電しておりましたが、他電力からの応援拡大などにより、本日中に約40万軒まで縮小する見通しです。

9月13日(金) 20:13 記者会見=ホームページ上では停電解消地域になっているにもかかわらず、低圧線側で問題がある停電については解消されていなかったため、「復旧」の考え方を改めて確認。

9月14日(土) 23:00=千葉県市区町村の地区ごとの復旧期間を公表。

⇒ 上述のように、9月9日通過の台風第15号によって房総半島に停電が発生した。10日に東京電力は通信網の遮断を確認せずに従前の流れに従い、見込みで当日中に約80%解消するとの発表を行った。これが情報混乱の引き金であった。

(2) 2018年の台風との停電状況の比較

(経済産業省発表資料より)

停電件数と解消までの時間

2018年9月	台風第21号	最大約	240万戸	約120時間後に99%解消
2018年9月	台風第24号	最大約	180万戸	約70時間後に99%解消
2019年9月	台風第15号	最大約	93万戸	約280時間後に99%解消

(3) 停電復旧の見通し（東電）

2019 年 9 月	台風第 15 号	停電ピーク時	9 月 9 日 8 時	
		見通し公表	9 月 13 日 18 時	4 日半
	台風第 19 号	停電ピーク時	10 月 13 日 0 時	
		見通し公表	10 月 14 日 0 時	1 日以内

⇒ 上述のように、2018年の台風第21号では西日本で240万戸の停電解消に約5日を要した例を参考に、93万戸ではその半分以下の日数で解消できると見込んだようだ。

2018年の台風第21号は、同年9月4日に近畿地方を通過し、大阪・京都・兵庫など広域6府県に大規模な停電と、死者7名、重軽傷57名の大きな被害をもたらした。

(4) 電柱の破損数

2018 年	台風第 21 号	最大停電数	約 240 万戸	電柱倒壊 約	1,343 本
2018 年	台風第 24 号	最大停電数	約 180 万戸	電柱倒壊 約	209 本
2019 年	台風第 15 号	最大停電数	約 93 万戸	電柱倒壊 約	2,000 本
2019 年	台風第 19 号	最大停電数	約 52 万戸	電柱倒壊 約	135 本

⇒ 上述のように、2018年台風第21号での広域6府県での電柱倒壊数約1343本に対して、2019年台風第15号では房総半島の狭い地域で約2000本と、2019年の台風第15号の電柱被害の大きさが際立っていることが窺えます。

<参考資料> 復旧作業に取り組む姿



電線の架け替え工事中



交通信号に自家発電機使用で仮復旧



強風でなぎ倒された鋸南町の山林



安房勝山駅の屋根仮復旧工事中

停電災害状況調査に用いたアンケート用紙

作成日：令和 年 月 日		(1 / 2) 頁	
台風15号/19号マンション停電災害 調査票			
マンション名	(-無記名可-)		
所在地	千葉県 (-番地不記載可-)		
新築年・構造	西暦 年 月 (築後 年) : 構造 / R C ・ S R C		
形態・戸数 適宜○印	()単棟型・()団地型 (全 棟) : 全戸数 () 戸		
災害対応 適宜○印	()免振又は耐震構造/有・()自家発電機/有・()防災マニュアル/有		
管理形態 適宜○印	()全面委託:()一部委託:()自主管理		
管理会社	管理会社名 (-不開示可-)		
記入者：肩書・氏名	、 : TEL:		
【停電災害・状況】			
停電時間・台風15号	停電時間 (日 時 ~ 日 時) : 停電なし ()		
・台風19号	停電時間 (日 時 ~ 日 時) : 停電なし ()		
Q1.今般の停電で困った事項と対応策をご記入願います。 停電なしの方はQ3.へ飛ぶ			
日常生活に影響を与えたと感じた設備に○印をしてください。			
A1. 専有部分:	調理・水・風呂・トイレ・電話・電化製品・TV・生活品・PC・新聞・他		
	(他:)		
共用部分:	EV・立体駐車場・自動ドア・ゴミ処理・排水管・給水管・屋内灯・他		
	(他:)		
Q2.停電で日常生活にどのような支障が出ましたか?その対策は?(住戸・組合)複数記載			
(ex. 停電と断水でトイレが使えなかった。その為・・・このように対応した。)			
A2-1			
A2-2.			
A2-3.			
A2-4			
A2-5.			
		(一社) 千葉県マンション管理士会 b c	

		(No.2 / 2) 頁
Q3.(住戸において) 停電対策としての事前準備で、有用だったこと。反省することは？		
A3.		
Q4.(組合において) マンション全館停電に際して有用対策だったこと。教訓などは？		
A4.		
【マンション暴風災害への対応状況】・・・除く停電災害関係・・・		
Q5.千葉県での台風15号、19号は主として暴風災害でした。		
Q5-1: 組合・個人で この二つの台風の被害はありましたか？(無・有) 有の方は次問へ		
A5-1: あれば、どんな被害ですか？ 対応は？		
Q5-2: 戦後最大級の台風で特別警報でした。何か対策をしましたか？(無・有) 有の方は次問へ		
A5-2: 特別警報を聞いて、組合・個人が取った対応は？		
Q5-3: 組合での災害用の保存食・飲料水はありますか？ (無・有) 有の方は次問へ		
A5-3: 保存食と飲料水は全組合員の凡そ何日分ですか？		
Q5-4: 組合又は町内会等主催の防災訓練への参加状況は？(無・有) 有の方は次問へ		
A5-4: 開催頻度は？ 組合員の参加率は？		
Q6.行政・電力会社への要望・意見は？		
A6.		
(ありがとうございました。)		
: 追って希望者に調査報告書を寄贈予定です。ご希望の方は下記に送付先を記載願います。		
〒	住所	
	氏名 (目的外使用は致しません)	
CMA欄 NO.	回収日 ()	:調査報告書発送日 ()
CMA担当者名	()	組合との関係 ()
(一社) 千葉県マンション管理士会: 〒260-0022 千葉市新明町13-2-104 b c		

第二部 房総半島の気象状況

2019（令和元）年秋 千葉県を襲った台風と低気圧

概要

2019（令和元）年秋の千葉県は、台風第15号、台風第19号、そして低気圧による1時間100ミリを越す豪雨と短期間に甚大な災害に見舞われました。

台風第15号では、ライフラインの要である電気が長期間にわたり途絶え、日々の生活から第1～3次産業まで広範囲にわたり生産活動が止まりました。地震に伴う停電は、2011（平成3）年東日本大震災で経験していますが、台風による長期間の停電は、初めてと言えるでしょう。

ここに台風第15号、台風第19号及び豪雨をもたらした低気圧の概要を解説します。

1 台風第15号（令和元年房総半島台風）

台風第15号は、9月7日から8日にかけて小笠原近海から伊豆諸島付近を北上し、9日3時前に三浦半島付近を通過して東京湾を北東進し、5時前、強い勢力で千葉県千葉市付近に中心気圧960ヘクトパスカルで上陸、その後、千葉県北西部、茨城県南部を北東進し、鹿島灘から太平洋へ抜けました。関東地方各地に暴風と強雨をもたらしました。

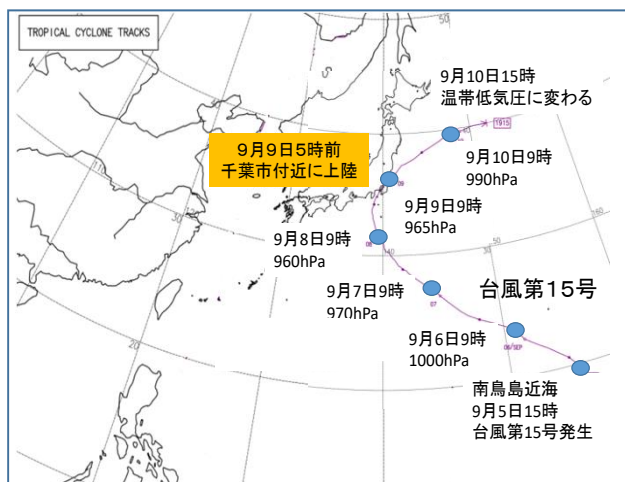


図1 台風第15号の経路図

9月5日、南鳥島近海で発生し、北西に進み、8日は伊豆諸島に沿って北上、9日5時前に千葉市付近に上陸した。（気象庁ホームページより入手した台風経路図に加工）

この台風は雲域が小さいため、台風本体の接近時に風、雨が急激に強まる特徴を持っていました。このため、千葉市中央区で最大瞬間風速57.5メートル、最大風速35.9メートルを観測するなど、多くの地点で観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測する記録的な暴風となり、千葉県を中心に大きな被害が発生しました。中でも長期間に及んだ停電は、日々の生活はもとより、電気を使用した農・畜産・水産業、製造業、サービス業などに大きな被害をもたらしました。



図2 千葉県内各地の最大風速と発現時刻
赤字は、観測史上第1位の最大風速と発現時刻、
黒字は9日の日最大風速と発現時刻を示す。
台風吹き込む南寄りの20m/sを超える非常に
強い風であった。
(銚子地方気象台ホームページより入手した資
料に加工)

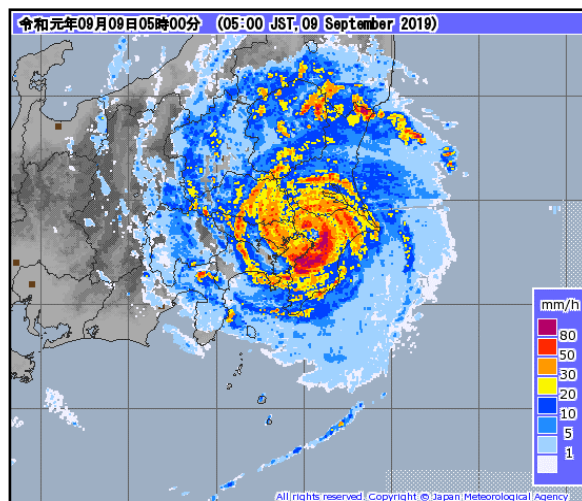


図3 9月9日5時の気象レーダー画像
台風第15号が千葉市付近に上陸した直後の
レーダーエコーで、台風の眼を取り巻く時間
雨量50ミリ以上の非常に激しい雨をもたら
す雨雲(赤色)が広がり、勢力の衰えない
ことが伺える。(気象庁ホームページより)

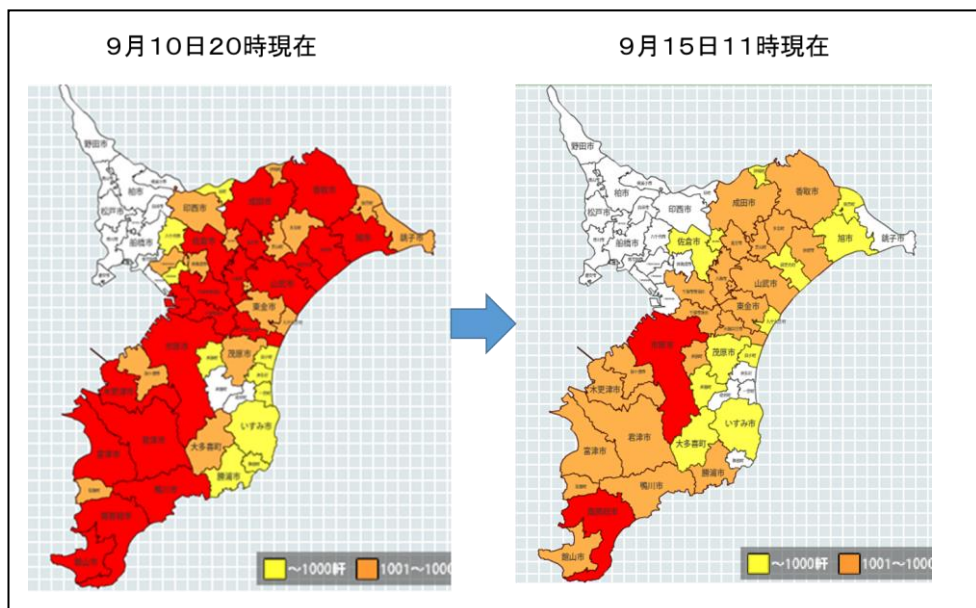


図4 停電となった千葉県内の市区町村の復旧状況を示す。

襲来翌日(9月10日)は、多くの市町村で1万軒を超える停電(赤色)が継続していたが、5日後の15日には市原市と南房総市が1万軒を超える状況(赤色)が続いていた。復旧に手間取っていることが分かる。黄色は1,000軒以下を、オレンジは1,001~10,000軒以下を、赤色は10,001軒以上の停電を示す。
(東京電力ホームページより)

2 台風第19号（令和元年東日本台風）

台風第19号は、2019（令和元）年10月12日19時前、という大型で強い勢力で静岡県伊豆半島に中心気圧955ヘクトパスカルで上陸し、その後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東海上に抜けました。

この台風は、台風の中心の北側に非常に発達した広い雨雲を伴っており、この雨雲が東寄りの風によって伊豆半島から関東地方西部の山地に吹き付け、1958（昭和33）年9月26日の狩野川台風同様、伊豆半島から関東地方の西部山地で記録的な大雨が降りました。神奈川県箱根では、1000ミリを、伊豆半島から関東地方西部の山地では600ミリを超え、群馬、埼玉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡、茨城、栃木、新潟、福島、宮城、岩手の13都県で大雨特別警報が発表されました。

千葉県は、特別警報が発表されるほどの記録的な大雨ではなかったですが、1か月前の台風第15号の暴風・大雨による建物や農業用施設被害が復旧していないところに来襲し、ほぼ同程度の総雨量約180mm、最大風速20m/sを超える非常に強い風であったことも加わり大きな被害が発生しました。

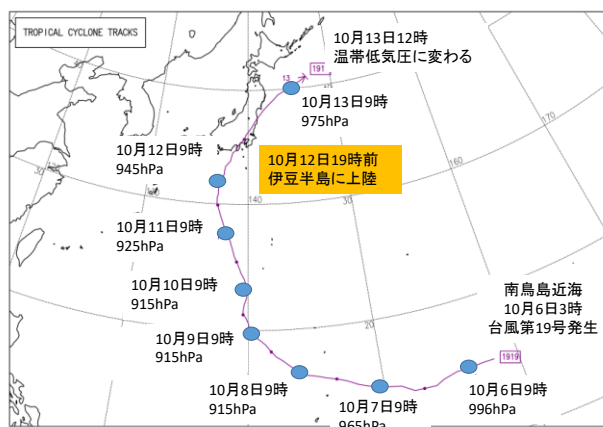


図5 台風第19号の経路図

10月6日、南鳥島近海で発生し、西に進み、8～12日にかけて伊豆諸島に沿って北上、12日19時前に静岡県伊豆半島に上陸、関東地方と福島県を縦断し、太平洋へ抜けた。（気象庁ホームページより入手した台風経路図に加工）

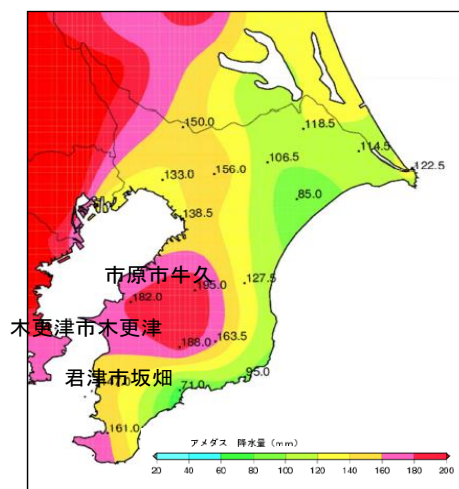


図6 千葉県内の総降水量分布図

数値は降水量を、地名は180ミリ以上の降水量を観測した地点を示す。台風第15号にほぼ匹敵する雨である。（銚子地方気象台ホームページより入手した資料に加工）

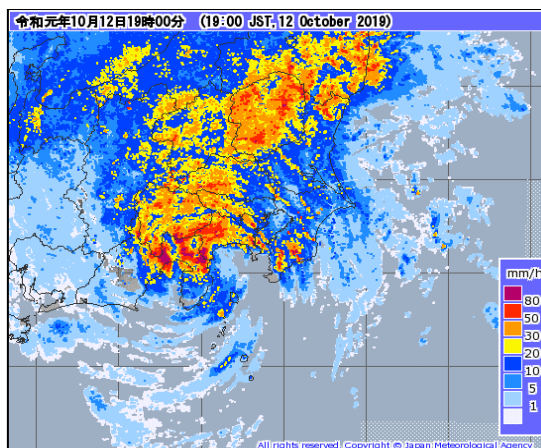


図7 10月12日19時の気象レーダー画像
台風の進行方向前面に1時間雨量50ミリ以上の非常に激しい雨をもたらす雨雲（赤色）が関東地方の山地に広がっていて総降水量600ミリを超える大雨をもたらした。（気象庁ホームページより）



図8 千葉県内各地の最大風速と風向
数値は10月12日の最大風速、地名は、日最大風速20m/S以上の非常に強い風を観測した地点を示す。台風第15号を超える南寄りの風には達しなかった。
（銚子地方気象台ホームページより入手した資料に加工）

3 10月25日豪雨をもたらした低気圧

非常に強い台風第21号が関東地方の東海上を北上していた2019（令和元）年10月25日、前日、東シナ海で発生した低気圧が関東地方を通過しました。

この低気圧は、台風のように多量の水蒸気を持っており、大雨を降らせる可能性がありました。加えて、関東地方の東海上を北上中の台風第21号からの強い湿った東寄りの風とオホーツク海の高気圧から吹き出す北東風、低気圧に吹き込む南西風とが千葉県北東部から南部にかけ線状に収束し、しかもほとんど停滞したため、同一場所で豪雨をもたらされました。千葉県千葉市付近と八街市付近では、10月25日の13時30分までの1時間に約100ミリの猛烈な雨が降りました。

この記録的な大雨により、千葉縣市原市の養老川、神崎川、茂原市の一宮川などが氾濫し、千葉県を中心に河川の氾濫や崖崩れ、道路の冠水や交通網の寸断が多数発生しました。

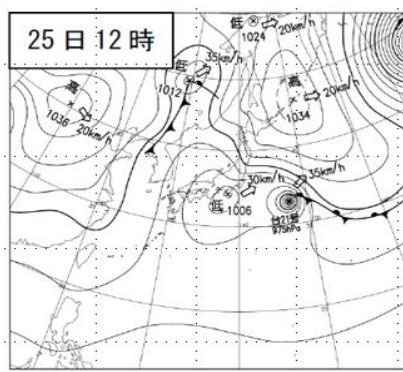


図9 10月25日12時の地上天気図
関東地方を通過する低気圧と東海上を
北上する台風第19号が描かれている。
(気象庁ホームページより)

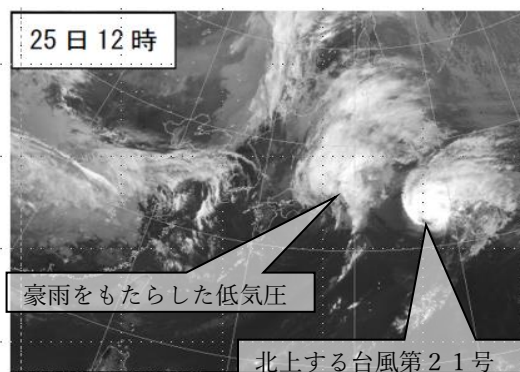


図10 10月25日12時のひまわり画像
東日本は、関東地方を通過する低気圧の厚い
雲に覆われていて、雲の下では1時間の降水
量100ミリを超す豪雨が発生した。
関東地方東海上には、台風第21号の厚い
雲が広がっている。(気象庁ホームページより
入手した資料に加工)

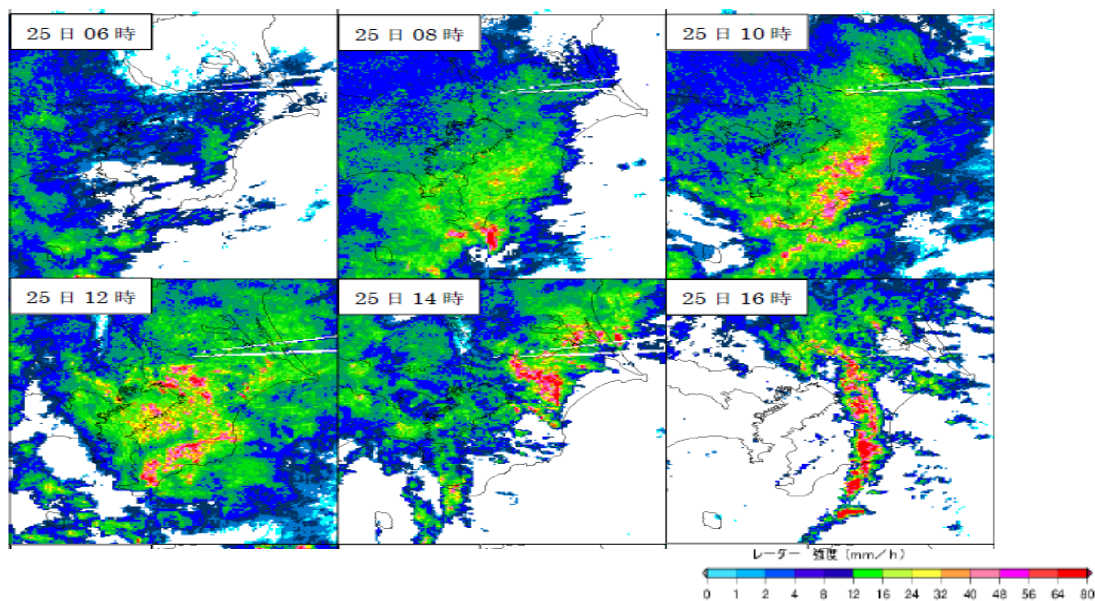


図 1 1 千葉県下に大雨をもたらした積乱雲の分布を示す気象レーダー画像
10月25日6時～16時までの2時間おきの画像。8時ごろから16時ごろまで、
30ミリ以上の激しい雨域はほとんど動かずに同じ場所に留まり、中小河川は雨水が
掃けず、各地ではん濫した。(銚子地方気象台ホームページより)

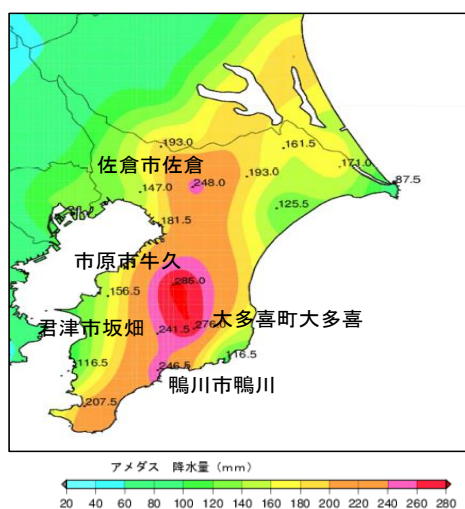


図 1 2 10月25日の総降水量分布図
地名は、200ミリを超す豪雨を観測した地点を示す。数字は、それぞれの観測地点の
日降水量を示す。
(銚子地方気象台ホームページより入手した資料に加工)

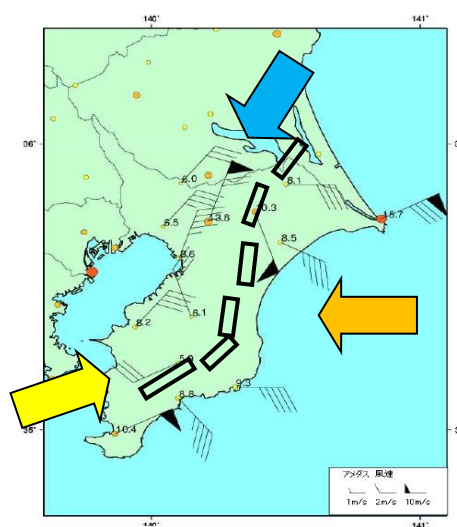


図 1 3 日最大風速・風向及び卓越風分布図
(10月25日00時～24時)
数字は、日最大風速値・風向を示す。東と北東と南西の3方向の風が吹き込み房総半島上で収束、
長時間にわたり移動できず大雨となった。
← : 風系を示す。
□ □ : 3方向の風の収束域
(銚子地方気象台ホームページより入手した資料に加工)

(田中和孝：マンション管理士・気象予報士)

第三部 房総半島台風等の被害状況

1 台風第15号による主な被害の状況

1 人的被害（12月5日17時00分現在 消防庁情報）

重傷者 8名

軽傷者 74名

2 建物被害

（1）住家被害

全 壊 314棟

半 壊 3,652棟

一部損壊 61,104棟

床上浸水 40棟

床下浸水 66棟

（2）非住家被害

公共建物 0棟

その他 600棟

（3）避難指示（緊急）及び避難勧告の発令状況（発令されていた市町村）（消防庁情報）

避難指示（緊急） 市原市

避難勧告 千葉市、船橋市、木更津市、松戸市、成田市、市原市、八千代市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、富里市、南房総市、匝瑳市、山武市、いすみ市、大網白里市、鋸南町

3 交通障害（運休、欠航）（国土交通省情報）

（1）鉄道の運休

JR東日本（外房線 内房線 成田線 東金線 久留里線）、東京メトロ東西線、東武野田線、京成電鉄、新京成電鉄、北総鉄道北総線、東葉高速鉄道、流鉄流山線、東京都交通局新宿線、小湊鉄道、いすみ鉄道、芝山鉄道、銚子電鉄、千葉都市モノレール、山万ユーカリが丘線

（2）東京湾フェリー

9日 欠航

10日以降 停電復旧まで一部欠航

（3）成田空港

8日の欠航便 132便（全日空30便、日本航空47便、その他55便）

9日の欠航便 236便（全日空73便、日本航空70便、その他93便）

その他成田空港においては、鉄道の運休や高速道路の通行止めにより空港からのアクセスに支障が発生。

復旧した鉄道による輸送のほか、臨時バスの運行等を実施。9月10日始発より空港からの交通機関は概ね通常運行となる。

4 道路被害 142箇所（9月12日16時00分現在 千葉県防災危機管理部）

5 電力障害（停電）（12月5日16時00分現在 経済産業省情報）

千葉県内 最大約934,900軒（9月9日7時50分時点）

- ・ 9月9日に直撃した台風第15号の影響により、東京電力エリアにおいて最大級の供給支障事故が発生（最大停電軒数 約934,900軒）
- ・ 今回の台風第15号は、平成30年台風第21号と比較して気圧傾度が大きく、中心付近で記録的な強風となり、建物被害（全・半壊）軒数で約9倍、がけ崩れ件数で約6倍の甚大な被害が発生。
- ・ 工務設備では、千葉エリアにおいて66kV鉄塔が2基倒壊。原因については事故調査検討委員会において調査中（12月中に取りまとめ予定）。
- ・ 一方、配電設備では、電柱・電線の損傷が千葉エリアを中心に広範囲に発生。原因は、倒木や建物倒壊、飛来物、土砂崩れ等の地盤影響による二次被害（一部推定も含む）。
- ・ 10月12日に上陸した台風第19号の影響により、東京電力受持ちエリアにおいて供給支障事故が発生（最大停電軒数約435,600軒）。
- ・ 台風第19号は兩台風であったため、送変電設備の土砂崩れ・浸水被害が発生、一方、配電設備における支持物折損・倒壊は台風第15号に比べ15分の1程度の被害。

6 水道（12月5日16時00分現在 厚生労働省情報）

現時点で復旧済み。

県市町村・事業者名	最大断水戸数(戸)	断水期間	被害等の状況(現在)
かずさ水道広域連合企業団 (木更津市、君津市、 富津市、袖ヶ浦市)	18,810	9/9～9/25	停電による断水（復旧済み）
鋸南町	230	9/9～9/25	停電による断水（復旧済み）
山武郡市広域水道企業団 (東金市、山武市、大網白里市 九十九里町、横芝光町)	64,889	9/9～9/11	千葉県九十九里地域水道企業 団からの送水停止（停電によ る浄水場運転停止）による断 水（復旧済み）
八匠水道企業団 (匝瑳市、横芝光町)	15,500	9/9～9/10	千葉県九十九里地域水道企業 団からの送水停止（停電によ る浄水場運転停止）による断 水（復旧済み）
長生郡市広域市町村圏組合 (茂原市、一宮町、睦沢町、長生村 白子町、長柄町、長南町)	431	9/10～9/11	停電による断水（復旧済み）
銚子市	2,171	9/9～9/10	停電による断水（復旧済み）
香取市（2事業者）	1,708	9/9～9/10	停電による断水（復旧済み）
成田市	5,000	9/10	停電による断水（復旧済み）
いすみ市	51	9/9～9/11	停電による断水（復旧済み）
市原市	1,313	9/9～9/16	停電による断水（復旧済み）
大多喜町	400	9/9～9/16	停電による断水（復旧済み）
鴨川市	5,755	9/9～9/16	停電による断水（復旧済み）
多古町	4,080	9/10～9/17	停電による断水（復旧済み）
南房総市	6,800	9/11～9/21	停電により断水（復旧済み）
三芳水道企業団 (館山市、南房総市)	169	9/9～9/17	停電による断水（復旧済み）

7 農産業被害（10月11日13時00分発表 千葉県農林水産部）

- (1) 農作物 5,073ヘクタール 約105億7,656万円
- (2) 農業施設 801ヘクタール、279箇所 約275億6,706万円

- (3) 農地・農業用施設 523箇所 約6億1,470万円
- (4) 畜産 採卵鶏、乳用牛、生乳等 10億3,875万円
 主な被災市町村： 八街市、旭市、山武市、南房総市、君津市、袖ヶ浦市、木更津市、
 袖ヶ浦市、香取市、銚子市、芝山町、鴨川市、市川市、鎌ヶ谷
 市、船橋市、茂原市、鋸南町、横芝光町、茂原市、匝瑳市、長柄
 町、富里市、市原市、千葉市、館山市、成田市、銚子市、多古町
- (5) 林地・林業用施設 1,257箇所 約12億1,200万円
 主な被災市町村： 君津市、鋸南町、富津市、市原市、八街市、多古町、南房総市、
 匝瑳市、館山市、香取市、山武市
- (6) 水産物・水産施設 993箇所 約17億4,550万円
 主な被災市町村 南房総市、鴨川市、富津市、木更津市、館山市、鋸南町、
 九十九里町、銚子市

(コメント)

令和元年の台風第15号は、9月9日早朝5時に千葉市付近に上陸しました。
台風の接近に伴い、鉄道事業者は前日8日に計画運休を発表し始めました。
JR東日本では9日始発から午前8時頃までを運休すると発表しましたが、線路上の倒木など
で、午前10時頃まで運転再開を延ばしたところもありました。
千葉市での最大瞬間風速は57.5mと観測史上1位を記録しました。この台風によって、千葉
県では大規模な停電が発生し、房総半島の戸建て住宅の屋根瓦が軒並み飛ばされ、天井から空
を見上げられるほどの被害を受けました。住宅被害でも一部損壊が6万1千戸と突出した数とな
っています。
房総半島がブルーシートに覆われた風景が目に残っています。

2 台風第19号による主な被害状況

- 1 人的被害（10月25日7時30分現在 非常災害対策本部）
 死亡 （市原市）1名
 重傷者 （南房総市）1名
 軽傷者 23名（千葉市4名、船橋市1名、習志野市1名、柏市1名、市原市10名、
 鎌ヶ谷市1名、南房総市1名、香取市1名、木更津市1名）
- 2 建物被害（10月25日7時30分現在 非常災害対策本部）
 (1) 住家被害
 全壊 9棟 市原市9棟
 半壊 27棟 市原市23棟、木更津市1棟
 一部損壊 787棟 千葉市28棟、市川市12棟、木更津市345棟、柏市8棟、
 勝浦市53棟、市原市55棟、いすみ市67棟、栄町3棟、多古町7棟、
 長南町3棟、大多喜町52棟
 床上浸水 23棟 銚子市12棟
 床下浸水 70棟 銚子市29棟
- (2) 非住家被害 10棟
- 3 交通障害（運休、欠航）（10月13日10時00分現在 千葉県防災危機管理部）

- (1) 鉄道の運休
J R東日本、京成電鉄、新京成電鉄、東武鉄道、小湊鉄道、いすみ鉄道、北総鉄道、東京地下鉄（東西線）、銚子電気鉄道、東葉高速鉄道、東京都交通局（新宿線）、山万（ユーカリが丘線）、首都圏新都市鉄道（つくばエクスプレス線）、千葉都市モノレール、流鉄、芝山鉄道、舞浜リゾートライン、京葉臨海鉄道
- (2) 東京湾フェリー（10月18日10時20分現在 東京湾フェリー株式会社）
12日28便（全便）欠航
13日28便（全便）欠航
- (3) 成田空港（10月17日 成田国際空港株式会社）
12日616便欠航
13日471便欠航
14日 32便欠航
- 4 道路被害（10月12日16時00分現在 千葉県防災危機管理部）
52箇所
- 5 電力障害（停電）（10月12日23時55分時点 東京電力）
県内最大約134, 200軒
- 6 水道被害（断水）（10月25日7時30分現在 非常災害対策本部）
現時点では復旧済み。最大断水戸数は2, 310戸であった。

県市町村・事業体名	最大断水戸数(戸)	断水期間	被害等の状況(現在の状況)
大多喜町	95	10/12 ～10/14	停電による断水（復旧済み）
長生郡市広域市町村圏組合（長南町）	443	10/12～10/14	停電による断水（復旧済み）
南房総市	360	10/12～10/16	停電による断水(復旧済み)
鴨川市	171	10/12～10/16	停電による断水(復旧済み)
三芳水道企業団（館山市）	120	10/13～10/16	停電による断水(復旧済み)
鋸南町	44	10/12～10/16	停電による断水(復旧済み)
かずさ水道広域連合企業団（君津市、富津市）	1,077	10/12～10/17	停電による断水（復旧済み）

- 7 農林水産業被害（10月25日11時発表 千葉県農林水産部）
- (1) 農業施設等 30ヘクタール 66箇所 約6億3, 208万円
主な被災市町村 柏市、一宮町、富里市、白子町、茂原市、館山市、東庄町、長生村、市原市、香取市、
- (2) 農作物等 646ヘクタール 約4億4, 926万円
主な被災市町村 市原市、富里市、銚子市、横芝光町、匝瑳市、茂原市、山武市、旭市
- (3) 畜産等 約188万円
畜産物(生乳) 14. 6トン
家畜(豚) 4頭
主な被災市町村 鴨川市、南房総市、館山市、旭市、富津市
- (4) 農地・農業用施設等 29箇所 4億8, 500万円
主な被災市町村 我孫子市、成田市、横芝光町、大多喜町、木更津市、富津市

- | | | | |
|-----|----------|--|-----------|
| (5) | 林地・林業用施設 | 67箇所 | 1億268万円 |
| | 主な被災市町村 | 東金市、香取市、旭市、館山市、匝瑳市、南房総市、木更津市、市原市、君津市、香取市、千葉市、船橋市 | |
| (6) | 水産物・水産施設 | 176箇所 | 3億0,181万円 |
| | 主な被災市町村 | 富津市、勝浦市、鴨川市、南房総市、館山市、いずみ市、市川市、木更津市 | |

〈コメント〉

台風第19号は令和元年10月12日本州に上陸、大雨特別警報を発表された静岡・神奈川・東京・埼玉など1都12県を北上に縦断して大雨被害をもたらしました。千葉県は、総降水量200mm以下と、他の地域に較べればそれほど多くはありませんでした。

これは、北上する前線が千葉県では停滞しなかったこと、前線通過時の上昇気流が大雨をもたらした地域に較べて弱かったこと等が幸いしたようです。しかし、ひと月前の台風第15号によって大きな被害を被った房総半島では、更に傷口を広げることになりました。

3 豪雨をもたらした低気圧による主な被害状況

- 1 人的被害（令和2年3月5日14時00分発表 千葉県防災危機管理部）

死 亡	11名
重傷者	1名
軽傷者	5名
- 2 建物被害（令和2年3月5日14時00分発表 千葉県防災危機管理部）
 - (1) 住家被害

全 壊	33棟
半 壊	1,713棟
一部損壊	1,835棟
床上浸水	450棟
床下浸水	825棟
 - (2) 非住家被害 23棟
- 3 交通障害（運休、欠航）（10月25日13時00分現在 千葉県総合企画部）
 - (1) 鉄道の運休

J R東日本(総武本線、外房線、成田線、東金線、久留里線)、小湊鉄道、いすみ鉄道
 - (2) 成田空港（10月29日現在 成田国際空港株式会社）

25日	欠航48便、ダイバード30便
26日	欠航6便
- 4 地滑り・崖崩れ（令和2年2月12日9時00分現在 消防庁情報）
 - (1) 地滑り 1件
 - (2) 崖崩れ 155件

5 道路被害

- ・ 通行止め 国道13か所、県道45か所、市町村道213か所
(10月26日15時00分までの最大 千葉県防災危機管理部)
- ・ 通行止め 高速道路・有料道路6路線
(10月25日20時00分時点 千葉県防災危機管理部)

6 電力障害(停電)(10月26日7時59分現在 東京電力情報)

停電戸数：最大約600戸

7 水道被害(断水)(令和2年2月12日9時00分現在 消防庁情報)

県市町村・事業体名	最大断水戸数(戸)	断水期間	被害等の状況
鴨川市	4,699	10/25～10/27	浄水場の送水ポンプの浸水による断水(復旧済み)

8 農林水産業被害(11月8日16時00分発表 千葉県農林水産部)

- (1) 農業施設等 24箇所 約9,278万円
主な被災市町村 佐倉市、市原市、南房総市、茂原市
- (2) 農作物等 215ヘクタール 約1億5,180万円
主な被災市町村 八街市、富里市、香取市、市原市、栄町、茂原市、佐倉市、四街道市
- (3) 畜産 家畜(ブロイラー)3万羽 約1,575万円
主な被災市町村 八街市
- (4) 農地・農業用施設等 119箇所 2億5,520万円
主な被災市町村 茂原市、長南町、長柄町、酒々井町、富里市、長南町、大多喜町、勝浦市、銚子市、千葉市
- (5) 林地・林業用施設 174箇所 約8,198万円
主な被災市町村 千葉市、市原市、成田市、佐倉市、八街市、栄町、多古町、東金市、山武市、大網白里市、茂原市、長柄町、長南町、睦沢町、鴨川市、大多喜町、南房総市
- (6) 水産施設 63箇所 約3,580万円

(コメント)

10月25日の豪雨災害は、台風第21号とその南側を多量の水蒸気を含んだ東シナ海で発生した低気圧とが千葉県付近で通過し、10月ひと月分の雨が僅か半日で降ったために河川が氾濫して11名もの死者を出したもので、後で激甚災害に指定されました。

亡くなった方々は、

- ・ 千葉市緑区では2か所の土砂崩れにより、それぞれ男女2人、女性1人
- ・ 市原市では土砂崩れにより女性1人。茂原市では川に流された男性1人。
- ・ 長柄町では2台の自動車から男性がそれぞれ1人ずつ。
- ・ 長南町でも同様、2人が車内で発見された。 等々

台風第15号・19号の被災で死者は合わせても1名でしたが、この大雨では11名と数多く、大雨による土砂被害の大きさが窺われます。

千葉県では、このように令和元年の秋に台風2件、豪雨1件がたて続けに襲来し、厳しい年となりました。

あ と が き

令和元年9月9日に大型台風が千葉県方面に来ることは天気予報等で周知されており、千葉県在住の人々はしっかりと身構えておりました。

マンション住人もベランダを片付けるなどし、その通過を待っておりました。

しかし、衣も食も住も概ね安泰だったところに落とし穴がありました。房総半島一帯に広域の停電が発生し、日常生活が混乱したことです。

台風災害の被害はマンション住人だけではなく、地域住人の被害と分離できるものではありません。相互に助け合う必要がありますので、全体の被害状況やその直接の原因を作った気象状況についても考察いたしました。強固な建物のマンションでは、緊急的には近隣住人を受入れ、マンション住人の不足する各種情報即ち町内会情報・行政情報・停電情報等々は教えて頂きたいものと思います。ここでは、相互に情報の共有を行う必要性を教えて頂きました。

私どもマンション管理士会としては、この「停電災害」の混乱を住人がどのように乗り切ったのかを調査し、今後のマンション防災の参考に供することを企画致しました。この企画はマンション管理士会の使命であり、少しでも社会に貢献できればとの思いでございます。

知る限りでは、マンションの停電災害調査はほとんど例がないのではないかと思います。一つ一つは大きな出来事ではありませんが、突然の停電への対策も是非、皆様の災害対策に含めておいて頂ければ幸いです。

マンション防災研究会

世話人代表 木村 孝

発行日 2020年 6月25日

一般社団法人千葉県マンション管理士会

会 長 森 健一

研究部会長 野崎 俊夫

マンション防災研究会

世話人代表 木村 孝

副代表 田中 和孝

委員 深澤 彬

委員 根本 駿輔

委員 大坪まり子

事務所 千葉市中央区神明町13-2-104

電話 043-244-9091

※当冊子の無断転載 禁止※

